

# 図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町 市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと

検索

ブログはこちら



## 11月の催しもの

●図書館で一緒に遊びましょ 10:30～

土曜日は図書館でスタッフと一緒に遊ぼう

♥ 14日 いっとファームくらぶ

さつまいものつるでリース作り

《要事前申込 先着15名》

◆ 21日 コロコロ！ペンギンつくるよ

♣ 28日 スカイベリーがヘンシ～ン!?

●読書週間関連イベント

～音楽と読み聞かせの世界へようこそ～

1日(日)10:30～11:30 企画研修室

図書館ボランティアさんによる影絵とおはなしの1時間！

●ボックリビー《要事前申込》

7日(土)14:00～15:30 企画研修室

まつぼっくりにビーズを飾り付け！



## 館長コレクション

「こんなもの集めてどうなるの?!」展



今回はトイレトペーパーの包装紙に、ジュースの空き缶。「こんなもの」だけど見る価値はあるかも!?

ツイッターでも情報配信中!



市貝町立図書館「いっとくん」

@ittokun\_ichikai



## そよ風見て歩く記Ⅲ 足尾編

10/1に図書館で足尾について講師の國井先生からおはなしを聞き、知識を深め10/7の現地研修に行ってきたよ!

日本の近代化を担った足尾の歴史と民俗にふれ感謝と尊敬の気持ちを新たに帰途についたんだ。さて、来年は?



## いっとファームくらぶ ～さつまいも収穫祭～

晴天に恵まれた10/18 いっとファームで育てたさつまいもをみんなで収穫したよ! 畑から出てくる大きな



さつまいもにあちらこちらから歓声がいっぱい! お芋を食べながら、おはなしを聞き、さつまいもクイズやゲームで盛り上がったよ～♪



## 図書館カレンダー

11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

(■ …休館日)

## ☆缶バッジコレクション☆

図書館ではイベントごとに缶バッジを配っています。今年度は4回あり、こどもの日とハロウィンの缶バッジの配布は終了しましたが、クリスマスとひなまつりにも配布します！

イベント期間中に先着で来館して頂いた方にプレゼントいたしますので、ぜひ図書館へお越しください。

【こどもの日】



【ハロウィン】



こんな風に図書館バッグにつけると可愛いですね。ぜひ集めてください。

## 🌸 スタッフのおすすめ本 🌸

### テンペスト

池上永一 著  
角川書店



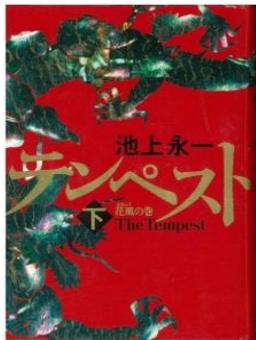
琉球王家の血を引く 天才かつ絶世の美女・真鶴が、男（宦官）と偽って王府に入り、琉球を守ろうと奮闘する 歴史エンターテインメント小説です。

以前、NHKでドラマ化されましたね。

登場人物も、話の設定もとっても軽くて、まるで少女コミックスのように、気軽に楽しく読めますよ♪

この本をきっかけにして、現代の沖縄や島国の外交のあり方にも関心をもつようになりました。

ぜひ読んでみてくださいね！



## \* 図書館のお仕事 \*

読書週間イベント編

年に2回の図書館のビッグイベント「読書週間」。春先の「こどもの読書週間」秋の「読書週間」。2週間という短い期間ですが、様々なイベントを通して、読書の楽しみを感じてもらえたらと試行錯誤しております。

市貝図書館といえば、おすすめの本をポップで紹介する通称「本の木」が定着してきました。図書館の階段の壁面を約6か月にわたり彩ります。今年話題になったことや季節感を考えての題材選び、万人受けする構成など案を出し合いスタッフ一丸となって準備します。

今回は油井亀美也宇宙飛行士の任務を受けて宇宙バージョン「本の銀河」に決定しました。1冊の本から生まれる無限大の可能性。みなさんがどんな本にであったのかぜひ、ご覧ください。

その他、クイズ、資料館とのコラボイベントや企画コーナーなどの設置で読書週間を盛り上げています。

## 館長のひとりごと



毎週新しい図書が入ってきます。

図書館勤務をしていて一番楽しい

時間ですが、その中に絵本もたくさん入ってきます。私の小さいころと違って、絵本も絵や話の作り方もバラエティに富んでおり魅力にあふれています。よくお母さん方から「どんな本を子どもに与えたらいいでしょうか」と聞かれる時がありますが、私は「本は大人が先に読んでから子どもに推めるといいのではないのでしょうか」と言っています。子どもと意見が違うのなら、なんでその本がいいのかを比較すればいいのです。親子でそういう話ができれば、絵本はとても意味のあるものになると思います。いつもの本棚から、ちょっと選ぶのではなく「お母さんはこっちの絵本！」といって棚の奥の目立たないほうから本を選んできたら「すごい親だな」と思うはずです。親は子どもにとって環境なので、きちんと環境整備をしなくてははいけません。本を選ぶとはそういうことではないでしょうか。